

2020年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:税法)

2020年2月15日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の問題1・問題2とも解答せよ

【問題1】

租税の公平の概念と租税の中立性について検討しなさい。

【問題2】

消費者金融業等を営む法人A社が、利息制限法に定める制限超過利息を超える収益の額を益金に算入して確定申告をしていたところ、いわゆるグレーゾーン金利は違法である旨の最高裁平成18年1月13日判決を契機に、過払金返還請求の行使が急増し、A社の資金繰りが悪化したため、破産手続開始決定がされ、破産管財人が選任された。A社の破産管財人は、債権調査の結果を基に、過去の各事業年度の本来あるべき法定の利息収入額を算出し、過年度所得について更正の請求を行った。本件更正の請求が認められるべきか否かについて、理由を付し、一般に公正妥当と認められる会計処理の基準との関係、関連する判例、条文等に言及の上、検討しなさい。

(更正の請求に関する期間的要件は満たしているものとする。)